

天草家保通信

熊本県天草家畜保健衛生所 〒863-0002 天草市本渡町本戸馬場1706-3
電話番号 0969-22-3668 ファックス番号 0969-24-4393
ホームページアドレス <http://www.pref.kumamoto.jp/construction/section/kaho/index.htm>
電子メールアドレス amakusakaho@pref.kumamoto.lg.jp

あけましておめでとうございます
今年もよろしくお祈いします。



平成二十一年一月五日仕事始め

新年を迎え、気持ち新たに、2009年の業務に取り組んでおります。

本号では職員の新年の年頭の意を記しました。家保職員一同、本年もどうぞ宜しくお願い致します。



～年頭のご挨拶～

皆様、明けましておめでとうございます。

今年も、家畜保健衛生の分野から天草地域農業の柱である畜産業を下支えし、消費者の皆さんには天草産畜産物を安心して食べていただけるよう食の安全確保に、所員一丸となって取り組んで参ります。

皆様のご協力をよろしくお願い致します。

天草家畜保健衛生所長 滝川 昇



**山下
主幹**
衛生課長

明けましておめでとうございます。
家畜保健衛生所は本年も伝染病の発生予防、
家畜の生産振興につとめ、地域畜産の発展を
目指します。



**荒牧
参事**
防疫担当

今年が鳥インフルエンザのような重大疾病
の発生がなく、平穏な1年になることを祈り
ます。
皆様には今年も宜しく願いいたします。



**東
参事**
牛担当

明けましておめでとうございます。
肉用牛担当としては、子牛の生産性向上を目指し、
子牛の事故率の低減と繁殖牛の腔胎日数の短縮を
図っていきたくと思っています。
今年もご協力よろしく願いいたします。



**前淵
主任技師**
豚担当

おめでとうございます。
今年も元気な笑顔と挨拶で、生産者の方々をはじ
め関係者の皆様とガッチリ連携して頑張っていきたい
と思っています。
今年もよろしく願いします。



**安田
技師**
鶏担当

今冬の厳しい寒さに、より懸念される鳥インフル
エンザ等、養鶏家の皆様におかれましては緊張感が
途切れる間もありませんが、これからも主に衛生面
から皆さんのお手伝いが出来ればと思っています。
今後ともどうぞ宜しくお願いします。



**立川
技師**
公用車担当

明けましておめでとうございます。
日頃よりの安全運転と、農家や関係者の皆様との
コミュニケーション維持に努めたいと思います。
今年もよろしく願いします。



**宇ノ木
主任主事**
庶務担当

明けましておめでとうございます。
天草での生活も早4年になろうとしています。
家畜保健衛生所の一員として少しでも役に立てる
ように、日々の業務に取り組んでいこうと思います。



岡本
天草自衛
事務局

明けましておめでとうございます。
天草地区家畜自衛防疫促進協議会の担当です。
本年も皆様のお力をお借りしながら、業務に励み
たいと思っています。
ご協力をお願い申し上げます。

平成20年度熊本県家畜衛生業績発表会

平成20年12月5日(金)、熊本県農業研究センターにて家畜衛生業績発表会が開催されました。本発表会は、県内の5家保(中央・城北・阿蘇・城南・天草)において、日頃の業務、研究・調査で得られた業績を発表するものです。

天草家保からも1題発表(下記にて紹介)したところ、大きな反響を呼び、本年2月に開催される、九州ブロック家畜保健衛生業績発表会に選出されました。

平成20年度天草家保発表話題「*Leptospira interrogans* serovar Hebdomadis (レプトスピラ症)が関与した豚流産の多発例」はじめに

レプトスピラ症は人や多くの動物に病原性を示す細菌で、豚では繁殖豚の死流産の原因となります。本症は診断が困難とされていましたが、新しい検査法が見つかり、徐々に報告され始めています。

天草管内でも、一昨年冬におきた豚の死流産で、本症の関与が確認されたのでその概要を報告します。

要旨

平成19年11月～20年3月、管内1養豚場で、死流産が多発しました(計25頭、写真1)。

死流産胎児12検体について病性鑑定を実施したところ、病理検査(免疫組織化学検査)でレプトスピラ抗原、遺伝子検索(*Leptospira-fla B*-PCR)でレプトスピラ遺伝子が検出されました。

死流産母豚血清16検体についてレプトスピラ抗体検査(顕微鏡凝集反応法)を実施したところ、全検体で血清型Hebdomadis抗体が確認されました(GM価2934.4)。

これらより血清型Hebdomadisによるレプトスピラ症と診断し、抗生剤(アンピシリン)による治療とネズミ等衛生害虫の駆除を含めた衛生対策を実施した結果、死流産の終息を確認しました(図1)。

さらに疫学調査として農場捕獲ネズミ2匹について検査したところ、レプトスピラ遺伝子が検出されましたが、血清型Hebdomadis抗体は確認されず、感染拡大はネズミ等の媒介ではなく、尿などを介した豚同士の感染によるものと考えられました。



写真1:レプトスピラ症による豚流産の胎子

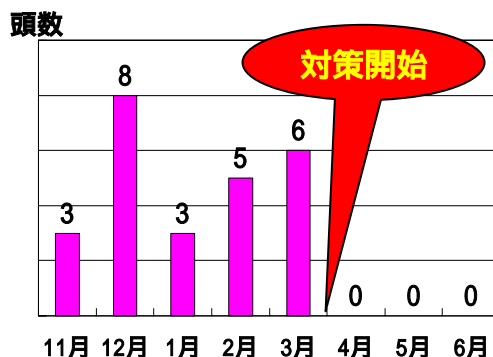


図1:発生農場における月別の死流産発生頭数

! ?

家畜の異常を発見された場合はご連絡ください。
天草家畜保健衛生所 電話番号0969-22-3668